



教育目標 誰一人取り残さない 子供が育つ学校づくり

「人とちがう」ということ

～「みんなちがってみんないい」から「みんなちがって当たり前」へ～

校長 白田 敏幸

わたしたちは時々、根拠もなく、「自分の考えや行動は普通である」と思い込むことがあります。他愛もないことであればいいのですが、意見や判断、価値観や行動が他人とちがう、気まずい思いをしたり、相手を特別視したりすることもあります。授業中、意見が友達とちがったり、休み時間にやりたいことが友達とちがったり…。こうした小さなズレが重なって、孤独感や疎外感を感じてしまう子供がいるのも現実です。

わたしたちは、人と同じであることを確かめ合って、本能的に自分を守り、安定を図ろうとすると同時に、自分と異なる意見や行動に対して否定的であったり、敵意を感じたりします。こうした“本能”は誰でももっていて、日常生活の安定を保っているのかもしれませんが。

しかし、意見や判断、行動がちがうことは、変化の激しいこれからの時代、必要不可欠であり、これまでの当たり前を問い直すことが、新しい価値への創造へとつながります。そして、多様性を認めるだけでなく、「多様であることこそ豊か」であるという考えを大事にしたいと思っています。

我々には「みんなと同じはず」「同じであるべき」という思い込みがあり、それが自分を萎縮させ、可能性の芽を摘んでしまうことがあるように思います。人とちがうことに対してマイナスのイメージをもつ傾向がありますが、グローバル化のこの時代、外国に目を向ければ、他人とちがいがいないことの方がよほど恥ずかしい生き方だったりします。みんなちがって当たり前。そんなプラスのイメージをもつことができれば、お互いにもっと寛容で、もっと感謝し合って生きていけるのではないかと思います。「みんな同じでなければならない。」そういった思い(同調圧力)が、他人とちがうことにおびえ、妬み、責めたくなる気持ちのもとになっているのではないのでしょうか。「他人とちがってはいけない」などと思っているのは、自分のよさなど見つかるはずなどありません。

日本の子供は、自尊感情が低いと言われます。(日本人の自尊感情が30年間下がり続けているという研究論文もあるようです。)日本の国民性として、謙虚で控えめであると、プラスにとらえることができるかもしれません。しかし、一人一人が自分らしく生きていくためには、ちがいを「当たり前」として認める環境が必要不可欠だと思っています。学校における日々の授業は、学力の向上が第一の目標ですが、こういったことも含めて「自分らしく生きていくための力」をつけていく大切な時間であると本校では捉えています。

学校に関わる全ての人のウェル・ビーイング(心身ともに幸福な状態)を実現していくためには、まず、我々大人が、「みんなちがうこと」を「当たり前」として受け入れることが必要です。子供たち一人一人のちがいを認めていくことを大切にしながら日々の教育活動を進めているところです。

【修学旅行 ～福島 会津若松での学び～】

9月7日（木）～8日（金）1泊2日の日程で、修学旅行を実施しました。

学校行事として位置付けられているもので、子供たちにとっては、小学校生活の中でも大きな思い出となる活動の一つです。初めて見る見学場所はもちろんのこと、自分たちで計画した自主研修、バスの中、そして、友達と共に過ごす旅館等、楽しいことだらけの修学旅行。「旅行」という名前がついているため、学校としては、子供たちに楽しんでもらうことが目的の一つです。また、修学旅行を経験することで、「身につく力」もあります。知らない土地で、自分たちだけで行動しなくてはいけない不安の中でどう助け合っていくか。友達のありがたさや、土地の人の温かさに気づくこともあるでしょう。実際、今回の修学旅行でも、子供たちは様々な場面で様々な体験をしたり思いをもったりすることができました。

今回、校長として修学旅行に同行し、子供たちの姿を見て学んだことは、「**修学旅行は、これまで子供たちが身につけてきた力を発揮する場**」だということです。子供たちは、本校で育成を目指している3つの資質能力【「自ら行動する力」「人を大切にできる力」「考え抜く力」】を存分に発揮していました。大人に頼らず、自分たちで考え、決定し、行動に移す姿。友達と声を掛け合い、励まし合いながら、常にポジティブな言葉を使う姿。困った時、迷った時でも、「何とか自分たちで解決しようとする姿。本当にたくましい子供たちだと感じたところです。

今回の修学旅行。きっと、大きな宝物となって一人一人の心に刻み込まれたことでしょう。



【バスの中】

バスガイドさんがつかなかったため、自分たちが準備したクイズを楽しみました。バスガイド顔負けの内容でした。



【コミュタン福島】

3. 11の経験を通して、環境について考えることのできる施設です。見学前に記念撮影。



【日新館】

ならぬことは、ならぬものです。



【ララちゃんランドセル 工場見学】

ランドセルづくりの様子を見学



【ララちゃんランドセル
キーホルダー作り体験】
ランドセル用の皮を使用して、キーホルダーを
作りました。



【鶴ヶ城】
鶴ヶ城をバックに
記念撮影。



「白虎隊はここから鶴ヶ城を見ただね。」



白虎隊のお墓の前で手を合わせました。

【自主研修…自分たちで計画し、会津若松の町を散策しました。】



ガラスコップ絵彫り体験



赤べこ絵付け体験



赤べこ絵付け体験



雨の中での班別活動



市内巡回バス「あかべえ」を待つ



会津武家屋敷にて

【紅花の種取り】

3・4年生が、全校で育てた紅花から、種を取りました。初めに、足で踏んで、大まかな殻を取り、その後「とうみ」という昔の道具を使って、種だけを取り出します。取った種は、来年度また畑に植え、紅花を育てる予定です。



【1・2年校外学習 河北町動物公園・中央公園】

国語及び生活科の学習として、町の動物園と中央公園に行ってきました。動物園では、動物の観察をしたり、馬や鹿に餌をやったりしてきました。また、中央公園では、遊具を使って遊んできました。気温が異常に高いため、予定していた時間より早く切り上げてきました。そのせいか、子供たちの満足度は低かったかもしれません。子供たちは、それぞれの施設に何回か来ているものの、学校の学習として、そして、友達と一緒に来たということもあり、大はしゃぎでした。



おめでとう! こども県展 奨励賞
3年 小野 樹生さん「カラフルぞう」



【10月の主な行事予定】

2日(月)~4日(水) 個人面談
3日(火) オードブル給食
6日(金) 県美展見学 司書勤務日
9日(祝) スポーツの日
10日(火) 子ども文庫 司書勤務日
11日(水) 持久走記録会
12日(木) 持久走記録 予備日
16日(月) 職員会議
17日(火) 3・4年山形市社会科見学 弁当日

18日(水) 校内授業研究会
19日(木) 司書勤務日
20日(金) 司書勤務日
24日(火) 全校朝会(校長講話)
25日(水) 西村山管内教育長訪問
クラブ
26日(木) 1・2年秋探し 弁当日
27日(金) 町教育委員訪問
学校保健委員会
31日(火) 司書勤務日